



アート + 認知症

アートとぽっぽっばなし

—やさしい美術鑑賞ガイドライン—



作品名 : はるしょうじょ 春少女
作家名 : な ら よしとも 奈良美智
制作年 : 2012年
サイズ : 227.0 x 182.0 cm
技法・素材 : アクリル、カンヴァス
所 蔵 : 横浜美術館

こちらから作品をご覧ください

URL <https://www.yoshitomonara.org/ja/catalogue/YNF5620/>

(一般財団法人奈良美智財団ウェブサイト)

作品の前で、こんなお話しをしてみませんか

- 1 「こっちを見ていますね。見つめ返してみませんか？」
- 2 「どんなことを考えていそうですか？」
- 3 「じっと見つめてみて、どんな気持ちになりましたか？」

アートとぽつぽつばなし

ーやさしい美術鑑賞ガイドラインー

この「アートとぽつぽつばなしーやさしい美術鑑賞ガイドラインー」は、認知症の方を含め様々な人たちが、施設や家など普段過ごしている場

所で、親しい人たちと作品鑑賞を気軽に楽しんでいただくために作成したものです。作品との出会いによって、人との関係や日常の時間が、“やさしく”豊かになることを願っています。

※このガイドラインは正しい鑑賞の方法を示すものではありません。

鑑賞の目的と効果

- 見たり話したりすることが頭の体操になる
- 思いがけない会話が生まれる
- いつもとは違う一面をみることができる
- 気持ちが落ち着いたり、気分転換になる

POINT



ここでの作品鑑賞は、作品を介したコミュニケーションを大切にしています。



コミュニケーション

- ゆっくり、やさしく（優しく / 易しく）
- 一緒に同じものを「見る」時間を大切に
- 返答がなくても、表情やしぐさの変化を伺う
- そのまま受け止める

POINT



作品鑑賞は、「非日常的」なコミュニケーションです。普段とは違う会話だからこそ、否定せずにそのまま受け止めてみましょう。



作品・作家

▶ 作品《春少女》について

こちらをまっすぐ見つめる少女の姿が描かれた作品です。大きな画面の中で、少女は多くを語らず、静かに立っています。その表情やまなざしは、見る人によって、強そうに見えたり、不安そうに見えたりと、受け取り方が異なります。物語がはっきり示されていないからこそ、見る人それぞれの気持ちや記憶が重なりやすい作品ともいえます。

▶ 作家「奈良美智」について

子どもや動物をモチーフに、大きな目と丸みのある輪郭を特徴とした作品を多く制作しています。かわいらしさだけでなく、強さや孤独、緊張感といった、複雑な内面を感じさせる表情が印象的です。

鑑賞のすすめかた

1. 一緒に作品を見る
2. 問いかけ例を参考に言葉をかける
3. 自由に話してみる（色や形、雰囲気など、「私にはこう見える」と、自分が感じたことを話すのも良いかもしれません）
4. 思い出話や関連した話題が出てきたら傾聴する

- ・5分でも20分でも鑑賞の時間は自由です。
- ・気分が乗らないようであれば日を改めてみましょう。
- ・作品は会話をする「きっかけ」です。話題が逸れても全く問題ありません。



POINT

☑ 【話す内容に困ったときの問いかけ例】

「やさしそうですか、悲しそうですか」

「この子、何歳くらいだと思いますか」

「このくらいの年頃、どんな遊びをしていましたか」

- ・具体的な質問だと答えやすい場合もあります（「目は何色ですか？」など）
- ・どこに何が描かれているのか、指さしながら一緒に確認をする（「ここに口がありますね」など）

さまざまな鑑賞体験

▶ 作品を身近な場所に置いてみる

ポストカードや複製画を、お部屋や廊下などに飾ってみましょう。ふと眺めたり、自然に会話が生まれることがあります。作品があることで、場の雰囲気が和むことがあります。

▶ 小さな鑑賞を続けてみる

このガイドラインを参考に、短い時間でも良いので作品が目にとまるたび、何度か鑑賞することをお勧めします。毎回同じ作品でも、その日の気分によって感じ方が変わることがあります。

▶ みんなで鑑賞会をしてみる

複数人で作品を囲むと、少人数では出てこなかった言葉や視点が生まれることがあります。

▶ 美術館に行ってみる

美術館で実物の作品を鑑賞するのもおすすめです。展示室の雰囲気や、作品の大きさ、空気感を味わうことで、鑑賞の体験が変化します。

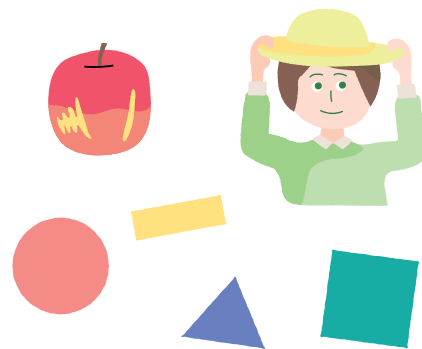
横浜市民ギャラリーあざみ野では、年間を通してさまざまな展覧会を開催しています。展示室の様子や鑑賞方法についてもお気軽にご相談ください。

▶ おすすめのウェブサイト

Google Arts & Culture：世界中の美術作品を高解像度画像で見ることができます。



作品選びのポイント



▶ わかりやすい

人物や風景、身近なものなど、「何が描かれているか」がすぐに分かる作品は、鑑賞の入口になりやすいです。

▶ 色や形がはっきりしている

色や形がはっきりしていると描かれているものを認識しやすいです。

▶ 年代や地域などに親しみがある

見る人の経験や記憶と重なりそうな題材は、回想のきっかけになることがあります。

▶ やさしい雰囲気

刺激が強すぎず穏やかな作品は、しばらく見ても疲れにくく、気持ちが落ち着きます。

▶ 会話が弾みそう

何より、ご自身が好きな作品や気になる作品を選ぶと楽しく会話ができます。

アート+認知症 やさしい美術鑑賞プログラム
当館の活動をご紹介します。



お問合せ・交通案内

横浜市民ギャラリーあざみ野

(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3

アートフォーラムあざみ野内

TEL : 045-910-5656

<https://artazamino.jp/>

E-mail: info@artazamino.jp

各種 SNS    @artazamino

最寄り駅

東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分／横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分

駐車場：23台(有料)

